

TCM



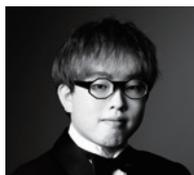
広上淳一



菅沼千尋



森河和音



矢澤遼



我妻直輝

東京音楽大学 学内「第九」 演奏会

東京音楽大学

指揮：
広上淳一

ソプラノ：
菅沼千尋（修士2年）

アルト：
森河和音（学部4年）

テノール：
矢澤遼（学部4年）

バリトン：
我妻直輝（学部3年）

管弦楽：
東京音楽大学
シンフォニーオーケストラ
（Aオーケストラ）

合唱：
東京音楽大学合唱団
（合唱指導：志村文彦、
藤牧正充、浅井隆仁）

2023 11.23 木・祝 14:00 開演 13:15 開場

東京音楽大学100周年記念ホール（池袋キャンパス）

入場無料 全席指定 ※入場にはチケットが必要です。

R. ワーグナー

楽劇

「ニュルンベルクのマイスタージンガー」

第1幕への前奏曲

L. v. ベートーヴェン

交響曲 第9番 ニ短調 作品125

「合唱付き」

2023年9月25日（月）10:00より一般予約受付開始

本公演は新型コロナウイルス感染拡大を受け、対策を講じて行います。

詳細は裏面及び本学チケットサイトをご覧ください。

※発券の際、1枚ごとに事務手数料385円（消費税を含む）がかかりますので、ご了承ください。

※在学生は、本学より付与されている会員アカウントをご利用ください。

※やむを得ぬ理由により、予告なく、出演者、曲目等変更の可能性がありますので、ご了承ください。

※乳幼児のご入場はご遠慮ください。

また、車椅子をご利用の方は演奏課まで

お問い合わせください。

演奏会お問い合わせ窓口

03-6379-3788（10:00～17:00 平日のみ）

主催：東京音楽大学 後援：豊島区



東京音楽大学
チケットサイト

<https://www.s2.e-get.jp/TCM/pt/>

当公演は、後日、
東京音楽大学 演奏会情報チャンネル
にて動画配信の予定です。



東京音楽大学
演奏会情報チャンネル





©Masaaki Tomitori

指揮 広上淳一 Conductor: Junichi Hirokami

東京生まれ。尾高忠信にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンサートホープ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンバス響のポストを歴任。近年では、ヴァンクーヴァー響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、バルセロナ響、モンテカルロ・フィル等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラの世界でもシドニー歌劇場でのデビュー以来、数々のプロダクションを指揮。2008年より京都市交響楽団常任指揮者、15年には同団と共にサントリー音楽賞を受賞。14年間にわたり輝かしい時代を築いた。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一、京都コンサートホール館長。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。



ソプラノ 菅沼千尋 (修士2年) Soprano: Chihiro Sugamuna

東京都出身。東京音楽大学声楽特別演奏家コース卒業。現在、同大学院修士課程声楽専攻オペラ研究領域2年次に在籍。第22回長江杯国際音楽コンクール声楽部門大学生の部第3位入賞。第12回東京国際声楽コンクール大学生部門全国大会入選。大学院オペラ「夕鶴」つう役にて出演。オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会に出演。学部卒業時に声楽専攻卒業優秀者演奏会に出演。これまでに、水野貴子、釜洞祐子の各氏に師事。



アルト 森河和音 (学部4年) Alto: Kazune Morikawa

東京都出身。幼少期より児童合唱団に所属し、藤原歌劇団等のオペラ公演に児童合唱として出演。東京音楽大学付属高等学校卒業。TCM高校・大学合同演奏会 プラームス ワルツ集「愛の歌」に出演。東京音楽大学創立115周年記念特別演奏会 オーケストラと合唱 歡喜の歌 にアルトソリストとして出演。第24回日本演奏家コンクール声楽部門入選。現在東京音楽大学学部4年に在学。これまでに声楽を菅有実子、藤井奈生子、加納里美、橘洋子の各氏に師事。



テノール 矢澤遼 (学部4年) Tenor: Ryo Yazawa

埼玉県出身。東京音楽大学声楽特別演奏家コース4年次に在籍。3年次、大学給付型奨学金を受領。これまでに小森輝彦、木下美穂子、加未徹の各氏に師事。



バリトン 我妻直輝 (学部3年) Baritone: Naoki Wagatsuma

2002年8月生まれ、15歳より声楽を始める。第43回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール声楽部門大学生の部第1位。第37回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール声楽部門高校生の部第4位。第1回プリマヴェーラコンクールカント・クラッシクヴェンティ入選。第12回東京国際声楽コンクール高校3年・卒業生部門入選。これまで声楽を星洋二、ヴォイストレーニングを黒川和伸の各氏に師事。

東京音楽大学シンフォニーオーケストラ (Aオーケストラ) Tokyo College of Music Symphony Orchestra

長い歴史に培われた伝統ある東京音楽大学シンフォニーオーケストラは、東京芸術劇場で毎年「定期演奏会」を行っているほか、地方都市で開催される演奏会にも出演し好評を博している。海外公演はこれまでに30余りの都市で行っており、なかでも2009年春(指揮:広上淳一教授)、2012年春(指揮:小林研一郎名誉教授)のヨーロッパ公演では満員の観客を魅了する演奏を披露した。本公演に出演のAオーケストラは「定期演奏会」に出演しているオーケストラとは別の団体で、2021年11月には本学学生ソリスト、合唱団とともに、広上淳一教授指揮による『学内「第九」演奏会』に出演。今回再び、広上教授指揮のもと、「第九」を演奏の予定。

合唱 東京音楽大学合唱団 (合唱指導:志村文彦、藤牧正充、浅井隆仁) Tokyo College of Music Chorus

東京音楽大学合唱団は「合唱」授業科目の履修者から選抜された学部生と声楽専攻の大学院生を中心に構成する混声合唱団で、国内外の著名オーケストラと数多くの共演を果たしている。

日本フィルハーモニー交響楽団との共演は、「第九」を始めとして1979年以来40年以上の歴史を持つ。他に2021年6月に「めぐろで第九2020+1」、2022年8月に「フェスタサマーマニエラ KAWASAKI 2022」に出演。2023年には日本フィルハーモニー交響楽団「クレルヴォ」「第九」「道化師」に出演。合唱指導は2022年度より、志村文彦、藤牧正充、浅井隆仁の各氏に加え、フレンドリー・アドバイザーとして広上淳一氏を迎えている。

会場案内

東京音楽大学 池袋キャンパス
100周年記念ホール (A館)
東京都豊島区南池袋3-4-5

JR、私鉄、地下鉄「池袋駅」東口
またはJR「目白駅」より徒歩約15分

副都心線「雑司が谷駅」1番出口、
都電荒川線「鬼子母神前」より
徒歩約5分

東京音楽大学Webサイトでも確認ができます。
<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>



東京音楽大学主催演奏会運営について

東京音楽大学主催演奏会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対策を講じて、お客様に安心して公演をご鑑賞いただけるよう努めております。下記QRコードで東京音楽大学HPの「東京音楽大学主催演奏会の運営について」を必ずご確認くださいの上、ご来場ください。なお、体調不良が見受けられる場合は、入場をお断りする場合がございます。予め、ご了承ください。



東京音楽大学主催
演奏会ご来場に
あたってのお願い

演奏会での標準的なSDGsの取組

東京音楽大学は「東京音楽大学環境方針」を踏まえ、「音楽と社会をつなげる」をミッションに、学生・教職員が一体となって、地域社会・事業者等との連携により、SDGsに積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することとしました。各々の演奏会では、学生・教職員は、標準としてSDGsが掲げる17の目標のうち、次の6つを意識し、音楽が持つ特性を十分に発揮し、素晴らしい感動と未来への夢などを提供することを旨とします。



〈すべての人に健康と福祉を〉
演奏会は、心に安らぎや、活力を与えてくれます。



〈人や国の不平等をなくそう〉
演奏曲は、その曲の作者やその時代背景などからその国や人を理解するきっかけをつくり、不平等をなくす営みを促します。



〈平和と公正をすべての人に〉
演奏会は、分け隔てなく参加することができます。この精神をみなさんにお伝えし、平和と公正を促して行くことが責務と考えています。



〈質の高い教育をみんなに〉
演奏会は、生涯学習の一端を担います。



〈住み続けられるまちづくりを〉
演奏会は、鑑賞していただく周辺地域の方々と共に創り上げて行くものです。本学では、この姿勢をまちづくりに展開することを目指し、エリアマネジメントの取組を進めております。



〈パートナーシップで目標を達成しよう〉
演奏会には、大勢の人の協力が不可欠です。この姿勢は様々な目標を達成させるための重要な要素です。本学は、演奏会参加者が、この姿勢をより深く、持続可能な社会の実現に貢献できる人材育成に寄与します。